

「神の国のために苦しみを受けている」

2018年11月28日

テサロニケの信徒への手紙 二 1章3節～7節 兄弟たち、あなたがたのことをいつも神に感謝せずにはられません。また、そうするのが当然です。あなたがたの信仰が大いに成長し、お互いに対する一人一人の愛が、あなたがたすべての間で豊かになっているからです。それで、わたしたち自身、あなたがたが今、受けているありとあらゆる迫害と苦難の中で、忍耐と信仰を示していることを、神の諸教会の間で誇りに思っています。これは、あなたがたを神の国にふさわしい者とする、神の判定が正しいという証拠です。あなたがたも、神の国のために苦しみを受けているのです。神は正しいことを行われます。あなたがたを苦しめている者には、苦しみをもって報い、また、苦しみを受けているあなたがたには、わたしたちと共に休息をもつて報いてくださるのです。主イエスが力強い天使たちを率いて天から来られるとき、神はこの報いを実現なさいます。

「著者」は、テサロニケの信徒に「兄弟たち」と親しく呼びかけ、あなたがたのことを神に感謝せずにはおられない、また、そうすることは当然である。なぜなら、「あなたがたの信仰が大いに成長し、お互いに対する一人一人の愛が、あなたがたすべての間で豊かになっているからです」と言っている。テサロニケの信徒たちは、「著者」から教えられたようにキリストの福音を信じ、従う信仰を懸命に生きたのである。その信従を、「わたしたち自身、あなたがたが今、受けているありとあらゆる迫害と苦難の中で、忍耐と信仰を示していることを、神の諸教会の間で誇りに思っています」と言っている。迫害と苦難の中で、忍耐し信仰を保つことは、あなたがたを神の国に相応しい者とする、神の判定が正しい証拠である。「あなたがたも、神の国のために苦しみを受けているのです。」この言葉がキーワードである。福音を生き、神の国を現すためには苦しみを受けるのである。パウロは、フィリピ書1章19節で、「あなたがたには、キリストを信じることだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです」と、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みと捉えている。ローマ書8章17節では、「もし子供であれば、相続人でもあります。神の相続人、しかもキリストと共同の相続人です。キリストと共に苦しむなら、共にその栄光をも受けるからです」と、キリストと共に苦しむなら、キリストと共同の相続人の栄光を受ける。更に、フィリピ書3章10節では、「わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです」と、苦難に与って、復活の命に達すると言っている。キリストと共に苦しみを負うことによって、救いに与り、神の国の働きに参与するのである。苦難のないキリスト信従はないということである。「著者」は、テサロニケの信徒たちが、身をもって、このことを証ししていることを諸教会の間で鳴り響いていることを誇りに思い、喜び、感謝している。

神は正しい裁きを行われる。「あなたがたを苦しめている者には、苦しみをもって報い、また、苦しみを受けているあなたがたには、わたしたちと共に休息をもつて報いてくださるのです。」主イエスが力強い天使たちを率いて天から来られる時、神はこの報いを実現される。神の国のために苦しみを受けたあなたがたは深い安息が与えられるが、あなたがたを苦しめる者には、更に深い苦しみをもつて、神は報いられる。祝福に与る者と報復を受ける者が二分されると言う。